

令和5年度事業計画について

1 会議等の開催

- (1) 協議会の開催 年2回程度
- (2) プロジェクトチームの打合せ 月1～2回程度

2 キックオフイベントの実施（別紙）

「美食のまち小田原」について、方向性を共有する場としてシンポジウムを開催する。

3 プロジェクトチームによる企画・実施

小田原の食材を活用した商品開発など、「美食のまち」のイメージを定着させる事業を企画・実施するほか、「美食のまち」に関するプロモーションを実施する。

(1) 「美食のまち市民サポーター」の設立

「美食のまち」の定義に賛同いただける市民を広く募集し、「(仮称)小田原市民が選ぶおすすめ食堂10選」のような市民目線で小田原の食を発信できる取組を実施する。

(2) 「日本一の朝食～小田原自慢の幸～」づくり

蒲鉾や梅干し、獲れたての海産物、かながわブランド米小田原産「はるみ」等の『小田原自慢の幸』を用いた朝食を開発する。

(3) 農水産物の高付加価値化

農産物を使ったスイーツや未利用魚を使ったレシピ考案など、農水産物の高付加価値化に向けた新商品等を開発する。開発に当たっては、小田原市農業まつりでブース出展し試食会等を開催するほか、小田原市水産卸売市場で新商品完成イベント等を開催し、小田原の食の取組を広く周知する。また、食にまつわる体験イベント等を開催する。

4 令和4年度策定計画に基づく事業の推進

(1) ガストロノミーツーリズム*の開発

小田原の「食」をテーマにインバウンドの食の専門家を招致し、将来的なパッケージツアー化に向けたトライアルツアーを実施する。

※その土地ならではの食や自然・文化を楽しむ旅のこと。

(2) 市民・観光客向けの食の啓発イベントの実施

小田原の食を市民や観光客に知ってもらおうと同時に、市内事業者同士の交流機

会の創出を図るため、小田原市街地におけるテスト的なフードイベントを実施する。

(3) 小田原の食×観光×まちづくりをテーマにした連続プログラム企画

食の魅力を市内外に発信するため、様々な業種の市内事業者と連携した料理の実演会やトークイベントを開催する。

(4) 各種プロモーション

国外からのインフルエンサー視点による評価や情報拡散を実施し、グローバルへの訴求・発信を図るほか、食の発信ができるウェブサイトの制作・運用を行う。